

連携を実装する場としての新棟（永国寺キャンパスへの建設を想定して最大のものとした場合）

【教員室フロア】

- ・教員室×20室：正教員16名、客員教員等4名分。現教育研究棟と同スペース（約20m²）。
- ・学群長室：現教育研究棟と同スペース（約25～30m²）。
- ・事務室：学群の事務担当者2名程度のデスクを準備。
- ・ミーティングルーム（応接室兼用）：10名程度のミーティング、来客用応接室としても使用

【研究室フロア】

定員60名の学生、教員等で1フロア約70名が利用すると仮定。2フロアで学部生（3、4年生）、大学院生（修士・博士）、ポスドク等を収容。1人当たりの面積は、一般企業等のフリーアドレス型事務所を参考に決定。壁をなくし、フリーアドレスとすることで効率的な利用、他の研究室の教員学生との交流を促す。

【価値創造・課題解決実践フロア】

現実の社会の課題に対しデータサイエンスを用いて解決を行う教育、社会貢献活動の場。閉じられた部屋は不要。Wi-Fi環境を整え、どの場所でもグループ学習を可能とする。

- ・ガイダンススペース：50～100名程度がガイダンスを受けられるスペース。
- ・グループワークブース×10程度：5～10程度の学生が自由に協創／共創できるスペース。
- ・サーバー室：3m×3m程度で24時間空調のOAフロア。津波想定で2F以上に設置。

【「産学官・高大連携」協働用プロトタイプングフロア】

ものづくスペース：ラズベリーパイ、3Dプリンター等を用いた各種試作品の作成作業スペース。
PoCスペース：模擬空間を用いた実装前のオペレーション確認などを行う概念実証スペース。
XR視聴覚スペース：VR・AR、立体音響、ホログラフィックディスプレイ等の試作品デモスペース。
など、研究や作業内容によって、スペースを確保するためにスライディングウォールを設置。

【「産学官・高大連携」推進用ディスカッションフロア】

- ・ワーキングスペース：教員・学生と企業とが事業創造やDXシステム開発などの打ち合わせスペース。作業用カウンター席、打合せ用席など適宜設置、Wi-Fi利用を可とする。
- ・プレゼンコート：企業等との協働成果発表など、イベントを行えるスペース。
- ・会議室：簡単なセミナー、説明会、商談などの打ち合わせに使用できるガラス張りの会議室（大小複数）。
- ・オンライン用スタジオ：オンライン授業、オンラインセミナーなどを収録・配信できる防音室。
- ・受付：外部利用者の案内用、無人対応可能な内線電話を設置。
- ・その他：ロッカー、自動販売機など。

※各階にトイレ、給湯室（適宜）、バックヤードスペースを設置

